

ひろしま里山グッドアワード

5件の候補から「さとやま未来大賞」を決定する一般投票の開始！！

中山間地域にあるものを生かして新しい価値の創造につなげている好事例を表彰する「ひろしま里山グッドアワード」について、今年度の募集を行ったところ15件の応募があり、一次審査の結果、5件を大賞候補として選定しました。

令和8年9月24日（木）から11月10日（火）まで、インターネットによる一般投票を実施し、11月21日（土）に開催予定の表彰式において、「さとやま未来大賞」等を発表します。

1 大賞候補の取組

取組の名称及び概要	団体名 [主な活動地域]	その他
生産現場のもったいない資源を活用。わらしべ農家プロジェクト 生産現場で発生する規格外農産物を生産者から買い取り、飲食店や食品加工場等での活用を進めている。農作物の正品率低下による売上高の不安定さや販路の確保等、農業経営のリスクを軽減し、生産者が腰を据えた農業を行うことで、里山の維持、発展に繋げている。	けわりも農店 [東広島市豊栄町]	
農業を通して島の未来を育てるプロジェクト レモンオーナー制度による収穫体験や草木染め体験等により、地域の魅力を体験できる場所を育み、島の関係人口を増やすことで、持続可能な地域づくりを目指している。さらに、島の高校生と連携した柑橘販売等により、次世代の担い手育成を進めている。	シキファーム [大崎上島町]	
飲食事業の持つ賑わい創造力で未来に希望を感じる故郷を創る 飲食店「吉山 BIANCO」と「Oishi 吉山」を運営。地元生産物を活用した料理を提供することで、地域資源を価値へ変え、本業の飲食事業を通じて人が集まる仕組みを創り続けている。地域内の雇用創出と、地域の規格外野菜を活用することによるフードロスの削減及び農家所得向上を実現している。	株式会社 EVENTOS [広島市安佐南区 沼田町吉山]	
つながる・ひろがる はつかいち津田商店街の挑戦 津田商店街を中心に、店主、地域住民、小中高校生、事業者、移住希望者等、誰でも参加できる場づくりに取り組んでいる。月1回地域円卓会議、2か月に1回ふれあいマルシェを開催し、商店街を買い物の場から「出会い・相談・挑戦が生まれる地域の拠点」へ育てている。	津田商店街を 創る会 [廿日市市佐伯地 域]	
鹿がつなぐ食と学びの地域循環～未来を育むおいしい食育～ 幼児～小学生と保護者を対象に、鹿について学び、調理し、味わう体験型食育イベント「こどもの森のレストラン」を開催している。加えて、市内の中学高等学校で、鹿をテーマに地域課題を考える探究学習等の実施により、鹿に対する学びを日常の食へ、さらに広島県の食文化へと繋げている。	株式会社 cica [安芸高田市]	

※エントリー順

2 今後のスケジュール

令和8年9月24日（木）～11月10日（火） インターネットによる一般投票



表彰式

令和8年11月21日（土）

「さとやま未来大賞」1件「未来のたね賞」1件、「入賞」3件 発表

※表彰式の詳細は別途資料提供する予定です。

3 投票方法

「ひろしま里山グッドアワード」のホームページから投票できます。
このホームページでは、1次審査通過の取組の内容も見ることができます。



<https://good-award.jp>

4 一次審査の概要

応募期間	令和8年5月26日（火）～令和8年7月10日（金）
応募総数	15件（内、1件は中山間地域外の活動のため審査対象外）
一次審査	審査員及び県による選考会を実施し、5件を選定
審査員	指出 一正氏（株式会社ソトコト 代表取締役、『ソトコト』編集長） 平野 公穂氏（株式会社中国新聞社 取締役 地域ビジネス局長） 藻谷 浩介氏（株式会社日本総合研究所 主席研究員）

5 昨年度の「さとやま未来大賞」受賞取組

限界集落発世界へ 小さな田舎から大きなおいしいを届ける挑戦
（実施主体：農ライフーズ株式会社）

竹原市田万里町で、地域の田んぼを守り再生することを目的として、米粉ドーナツ専門店と農村リトリート宿を開業。自然栽培で米を育て、ドーナツに加工、米の価値を高め、農村の資源を生かした新たな地域の魅力づくりを目指した取組。耕作放棄地の活用、有機米を地域で作るなど、地域貢献の高い取組が評価された。



中山間地域を元気にするための活動を続けている方々を表彰する事業です。
活動実践者のモチベーションアップのためにも是非、報道して下さるようお願いいたします。
詳細は、上記 URL 又は QR コードより、「ひろしま里山グッドアワード」のホームページをご覧ください。